電動車いすサッカー知って！

PK、リレーで体験楽しむ

携帯電話のカメラ㊧で撮影し、インターネットで動画が配信される中で開催された車いすサッカーの体験・交流イベント＝金沢市駅西本町の駅西むつみ体育館で

電動車いすサッカーの魅力を知ってもらおうと、「金沢ベストブラザーズ」などが十二日、金沢市駅西本町の駅西むつみ体育館で体験イベントを開催。約八十人の参加者は電動車いすの操作に戸惑いながらもリレーやPK合戦を楽しんだ。

電動車いすの手すりには車を操縦するレバーが付き、低速で時速四・五キロ、中速で七キロと速さを調節できる。車いすの足元に取り付けたタイヤを半分に切ったような用具を使って、直径五十センチのボールを受け止めながら、巧みに操る。

参加者は金沢ベストブラザーズの選手らの指導を受けながら、体育館を横切る速さを競うリレーや幅三メートルのゴールを狙うPK戦を体験。初めて車いすに乗ったという同市松村の男性会社員(四五)は「フォークリフトの操作に少し似ているけど、難しいね」と語った。

コンサルティング事業などを手がけるパステルラボ（金沢市）が日本電動車いすサッカー選手権を携帯電話で生中継した技術で金沢市ITビジネス大賞を受賞したことを記念し、今回のイベントを催した。

（伊藤弘喜）

北陸中日新聞

2006年(平成18年)3月13日(月曜日)